## 熊本県立菊池少年自然の家における 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について



令和4年度企画事業「集団宿泊教室担当者セミナー」

#### 1 利用の条件について

- (1)発熱(微熱が数日間継続)や咳、だるさ(倦怠感)、 息苦しさ(呼吸困難)、のどの痛み等の諸症状が無い方 (利用初日の朝も、各自で検温をお願いします。)
- (2)感染が確認されている国から帰国後14日以上経過し、 諸症状が無い方
- (3)一人ひとりが、マスクを着用できる団体
- (4)朝、夜の検温と団体の健康状態を確認することができる 団体(可能な限り、体温計は持参してください。)

#### 2 利用期間中について

#### (1)活動(研修)について

- ①感染のリスクが高い活動(野外炊飯、朝・夕のつどい等)は当面の間、中止としますのであらかじめご了承ください。
- ②研修室等の活動場所は、いわゆる「三つの密」を避けるために可能な限り、余裕のある人数で利用できるよう他団体と調整を行います。ご希望の活動場所にならないこともありますので、予めご了承ください。
- ③研修室などの屋内については、定期的な換気をお願いします。
- ④ 唾液等の飛沫感染に留意した活動をお願いします。
  - (例えば、マスクを着用しない状態では近距離で会話や発声を伴った活動は行わない、密接しての活動等は避ける等お願いします。)
- ⑤「三つの密」を避けるために、食事や入浴時間を他団体と 調整を行います。これに伴い、活動時間が短縮される場合も あります。

#### (2)生活について

- ①食堂利用の際は、対面着席でない配席とし、食事の提供から 片付けまでの一連の流れにおいて、感染リスクを取り除くよう ご協力をお願いします。
- ②食堂への入室や配膳レーンに並ぶ際にも、マスクを着用し、 間隔を空けるとともに大声での会話等はしないよう周知徹底を お願いします。
- ③食事が済んだ方から随時退室するようお願いします。
- ④団体ごとに食事時間を事前に指定させていただきます。 引率者のみならず、団体内全員に時間帯を周知してください。
- ⑤食事後のテーブル等の拭き上げにご協力ください。
- ⑥入浴においても、食事同様に時間帯の指定があります。
- ⑦宿泊室についても、可能な限り密集しないよう配室調整しますが、予約状況によっては御意向に沿えない場合もありますので、 予めご理解ください。

#### 3 利用中に発熱・咳等の症状が出た場合について

- (1)発熱等の症状が出た場合は、新型コロナウイルス感染症の 疑いと想定して対応します。
- (2)団体内で以下の症状が発症した場合、職員にその旨をお知らせください。

症状:発熱(微熱が数日間継続)、咳、だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)、のどの痛み、味覚・嗅覚の低下など

- (3)発症者と同室宿泊者は感染拡大防止のため、別室に移動していただきます。
- (4)団体代表者は、発症者および同室宿泊者の保護者・家族 等に連絡をしていただき、医療機関への搬送や帰宅(退所) に向けた対応をお願いします。
  - ※必ず、緊急車両を1台ご準備ください。

## 4 利用後について

- (1)発症し帰宅された方がいる場合は、その後の経過(診断結果 等)について、施設に必ず連絡をお願いします。
- (2)退所後2週間の間に各団体の利用者が発症した場合も、 施設に必ず連絡をお願いします。

#### 《参考》感染拡大防止に向けた施設の取組について

- (1)全職員が毎日体温を測定し、マスクを着用、こまめな 手洗い・手指消毒等を励行します。
- (2)受付カウンターをはじめテーブル等の備品、研修の際の貸出物品は消毒を徹底します。
- (3)宿泊室や研修室はゆとりのある配室を行い、食事や入浴の時間帯を調整し、「三つの密」の回避に配慮します。

# 施設の感染症拡大防止策について

- 1 消毒液の設置
- 2 注意喚起についての掲示
- 3 食堂の使い方
- 4 宿泊部屋の使い方
- 5 お風呂の使い方
- 6 体育室、研修室の使い方
- 7 救護室の設置
- 8 備品の準備

## 1 消毒液の設置

宿泊棟、体育室、研修室、食堂などの入り口に全16カ所設置



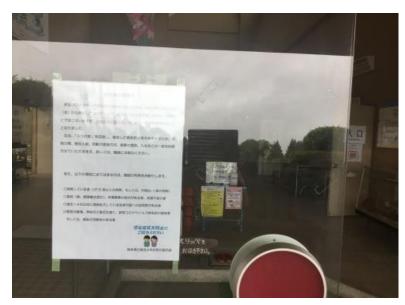


# 2 注意喚起についての掲示



手洗い・消毒・換気について



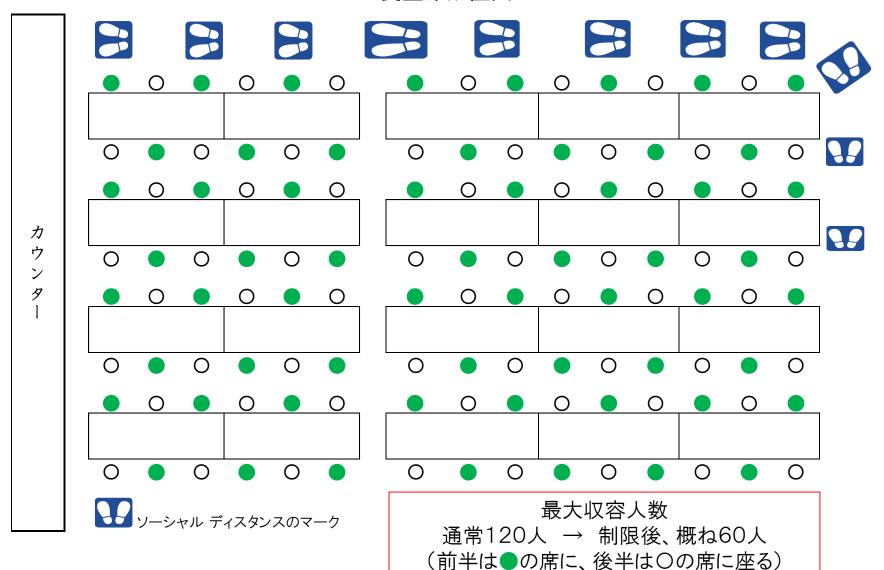


利用上の注意について(玄関)

洋式トイレ ふた表示

## 3 食堂の使い方

食堂席配置図



# 3 食堂の使い方

#### ソーシャルディスタンス足マーク



ジグザグ席配置



飛沫防止用カーテン (ご飯・汁物)



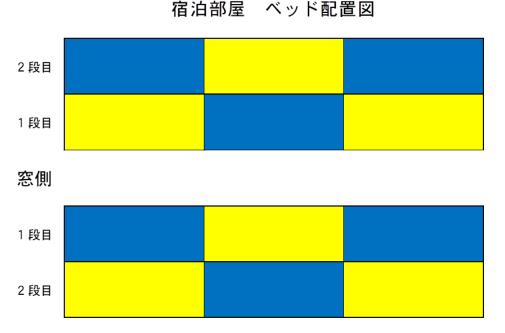
次亜塩素酸水 生成器



換気用網戸の設置 常に網戸の状態で 換気実施



## 4 宿泊部屋の使い方





学校ごとに色(黄色or青色)をあてる (通常12人 → 制限後、6~8人)

日ごとに交互に割り当て、連続して同じベッドを使用しないようにしている。(※使用後は、スプレー除菌をする)シーツ・枕カバーを必ず使用し、毎回クリーニングを行う

## 5 お風呂の使い方

#### 通常16人 → 制限後、概ね8人

収納BOXは全30個 使用後は、引率者が消毒をする



脱衣所

シャワーは全8個 浴槽に4人、シャワー4人を 入れ替えて使用する



浴室

# 6 体育室、研修室の使い方



## 体育室

2方向間の換気 扇風機4台、換気扇3台

ソーシャルディスタンス表示



### 研修室

2方向間の換気9つの窓

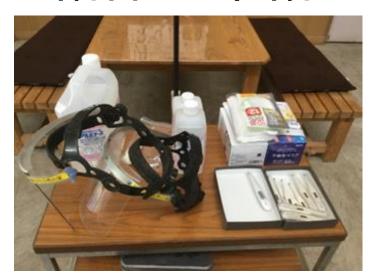
ソーシャルディスタンス表示

## 7 救護室の設置



発熱などの症状がある利用者の一時、 待機場所

## 8 備品の準備



- ・フェイスシールド
- ・アルコール消毒液
- ·次亜塩素酸水 生成器
- ・マスク
- •非接触型体温計

